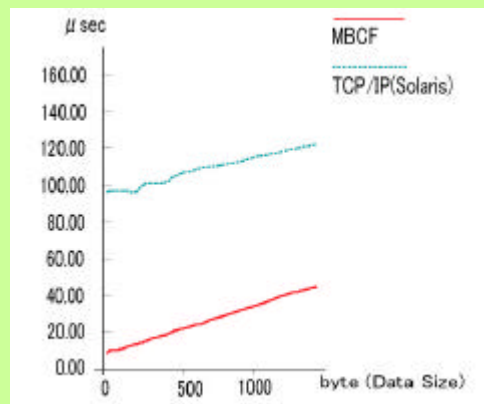


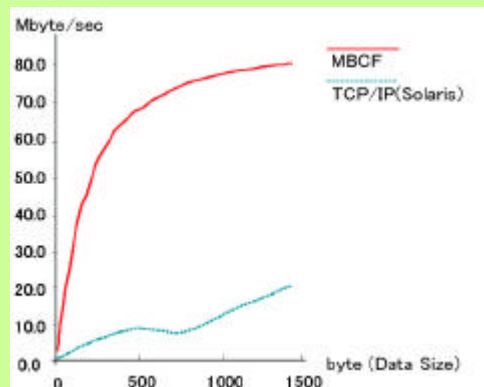
SSS-CORE の性能



Gigabit Ethernetを使ったMBCFの性能



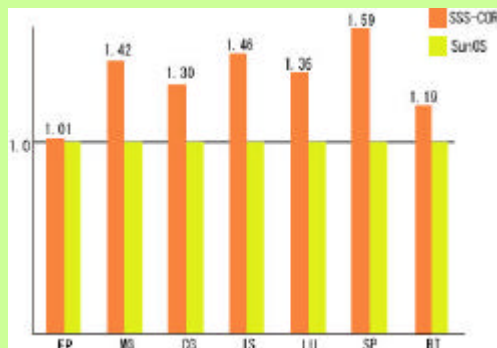
片道遅延時間 (μ sec)



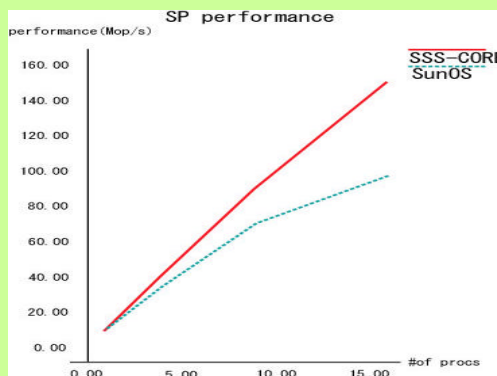
実効最大バンド幅 (Mbyte/sec)

測定条件
 Ultra 60ワークステーション (UltraSPARC 450MHz × 1)
 Sun GigabitEthernet 2.0 Adapter (PCI164bit,66MHz)
 光ファイバーによりワークステーションを直結
 基本ソフト : SSS-CORE Ver.2.3
 比較対象として同一HWでSolaris 2.6のTCP/IPを使用

MPI/MBCF@SSS-CORE と MPI@SunOSの性能比較



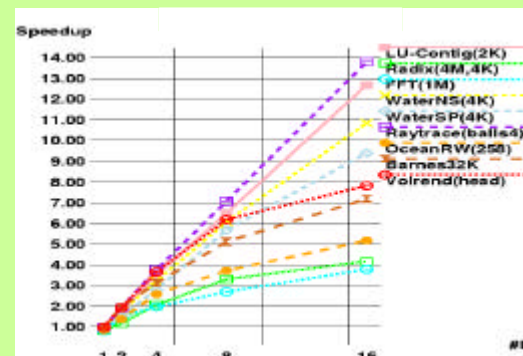
SSS-CORE におけるアプリケーション実行性能 (SunOSにおける性能を1とした。16ノード。性能 = 実行時間の逆数)



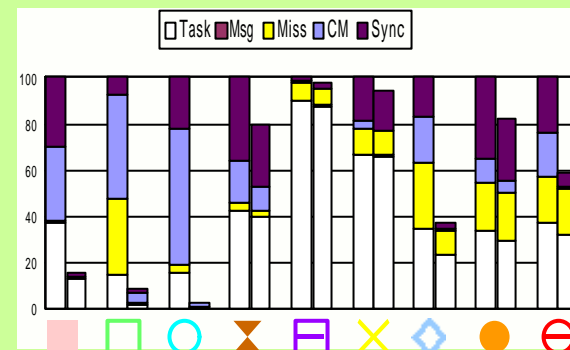
SP実行時の台数効果

測定条件
 SPARCstation 20 ワークステーション(85 MHz SuperSPARC × 1)
 Sun FastEthernet Adapter 2.0
 3Com Super Stack II Switch 3900 (スイッチング Hub)
 基本ソフト : MPI/MBCF, SSS-CORE Ver.1.1a
 比較対象として同一HWでMPICH 1.1.1, SunOS 4.1.4を使用
 アプリケーション : NAS Parallel Benchmarks 2.3 (Class W)
 コンパイラ : gcc 2.7.2.3, g77 0.5.21

共有メモリ並列アプリケーションの実行性能



SSS-CORE における共有メモリアプリケーション実行の台数効果 (単体用コードの単体マシンにおける性能を1とした)



RCOP最適化コンパイラの時間短縮効果 (16ノード、左:最適化なし、右:最適化あり)

測定条件
 SPARCstation 20 ワークステーション(85 MHz SuperSPARC × 1)
 Sun FastEthernet Adapter 2.0
 3Com Super Stack II Switch 3900 (スイッチング Hub)
 基本ソフト : SSS-CORE Ver.1.2
 最適化コンパイラ : RCOP
 アプリケーション : SPLASH2
 バックエンドコンパイラ : gcc 2.7.2.3

SSS-CORE のより詳しいデータおよび説明は、<http://www-hiraki.is.s.u-tokyo.ac.jp/ssscore/index-j.html> からたどれる文献を参照してください。